

## 塘研究室現地調査報告 13

11月20日に裏磐梯, 21日に表磐梯にて現地調査を実施しました。20日の調査は難波君の研究材料であるフロリダマミズヨコエビの採集(難波君は前日にも武田君とともに裏磐梯の河川でのフロリダマミズヨコエビの採集を実施しました), 21日は林宏至朗君の調査の第8回目で, 20日は塘研究室3年生の佐藤椋一君と塘が, 21日は塘が同行しました。

20日は桧原湖畔探勝路付近の沼と五色沼湖沼群の毘沙門沼東岸でサンプリングしました。昼過ぎの昼食時に雨に降られましたが, サンプリング中は幸い雨には降られませんでした。夏の調査時とは違って, 桧原湖畔探勝路沿いの沼からはたくさんのフロリダマミズヨコエビがあつという間に採集されました。毘沙門沼も含めて沼の水温は低く, 冷たかったので, 採集に費やす時間が短くて済んだのはありがたかったです。

21日は時々小雨が降る中での調査になりました。水草は浮葉植物のヒルムシロの仲間はまだ緑色を呈していましたが, 抽水植物や池の周りの草本植物はほとんど枯れており, 池の周りには虫はほとんどおらず, 冬の気配が強く漂っていました。池の中ではイトトンボの仲間のヤゴなどは活動中でしたが, 多くの水生昆虫は池底の底質中でほとんど動かず, 越冬の準備に入っているようでした。林君の今年の調査はこれで終了です。



桧原湖畔探勝路付近の池沼での調査



毘沙門沼での調査 1



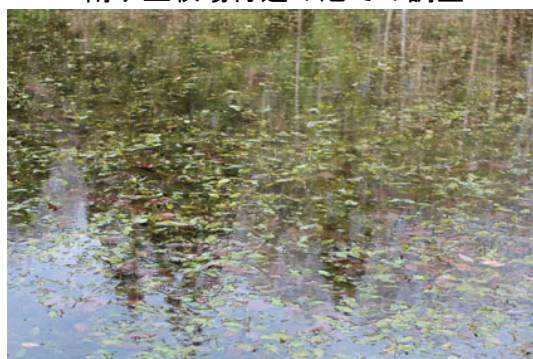
毘沙門沼での調査 2



南ヶ丘牧場付近の池での調査



南ヶ丘牧場付近の池



池内の浮葉植物 (ヒルムシロの仲間)